超高齢社会に対応した生涯学習の在り方について (高齢化に関わる愛知県の現状)

I 愛知県内における高齢化の現状

(1) 本県全体の状況

- ○65 歳以上の高齢者(以下「高齢者」という。)人口は171万人(平成26年10月1日現在の推計値)で、前年から見ると6万人増加し、総人口に占める割合は23.0%となり、0.8%の増加となっている。
- ○高齢者の増加率について、22 年から 23 年は 0.4%であったが、23 年から 24 年は 0.8%、24 年から 25 年は 0.9%、25 年から 26 年は 0.8%と、高齢化の速度が上がっている。推計では平成 37 年には 26.4%、平成 47 年には 29.5%となり、全国平均の 33.4%に比べて約 4%低いとはいえ、ほぼ 3 人に 1 人が高齢者になるとされている。
- ○高齢者のうち、後期高齢者といわれる 75 歳以上の者の割合について、直近の 2 年間では 2 万人ずつの増加であるが、「団塊の世代(昭和 22~24 年生まれ)」が後期高齢者となる平成 37 年度には大きく増加し、前期高齢者と後期高齢者との割合が逆転することになる。

【表1】人口の推移

111	<u> </u>	17 JE 19							
			平22年	平23年	平24年	平25年	平26年	平37年	平47年
愛知県の	の総人	口(万人)	741	742	743	744	745	735	705
高齢者			149	152	158	165	171	194	208
	うち	65~74歳	84	84	86	91	95	78	89
人口	うち	75歳以上	65	68	72	74	76	116	119
			20.1%	20.5%	21.3%	22.2%	23.0%	26.4%	29.5%
			(23.0%)	(23.3%)	(24.1%)	(25.1%)	(26.0%)	(30.3%)	(33.4%)
高齢者	5.+	CE - 74毕	11.3%	11.3%	11.6%	12.2%	12.8%	10.6%	12.6%
割合※	うち	65~74歳	(11.9%)	(11.8%)	(12.2%)	(12.8%)	(13.5%)	(12.2%)	(13.4%)
	5.+	75-45-01-1	8.8%	9.2%	9.7%	9.9%	10.2%	15.8%	16.9%
	うち	75歳以上	(11.1%)	(11.5%)	(11.9%)	(12.3%)	(12.5%)	(18.1%)	(20.0%)

※高齢者割合について、上段は愛知県、下段()は全国平均

資料: 平 $22\sim26$ 年は「あいちの人口」。平 37, 47 年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成 25 年 3 月推計)」

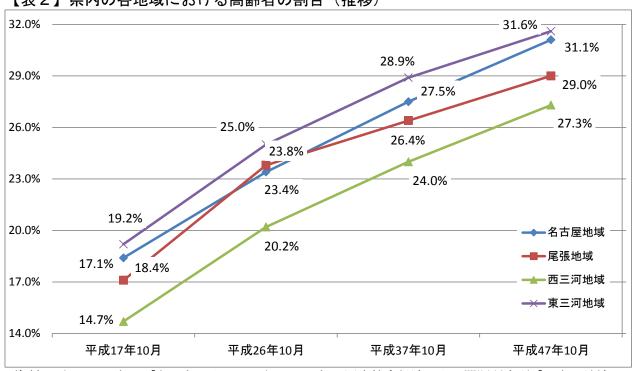
(2) 県内の地域別にみた高齢化の状況

高齢化にかかる地域別の特徴を把握するため、県内を4地域(一部資料については6地域)に分類した。

(ア) 高齢者の割合【表2、2-1】

- ○平成 26 年 10 月時点で、県内の各地域について、いずれも高齢者の割合は、20% を超えているが、特に東三河地域の割合は 25%となっており、既に 4 人に 1 人が 65 歳以上となっている。その一方で、西三河地域の高齢化率は 20.2%となっており、超高齢社会(高齢化率 21%超)には至っていない。
- ○今後、高齢化率が最も上昇するのは名古屋地域で、平成 47 年度には 31.1%となり、 ほぼ東三河地域と同率となっている。
- ○平成17年から26年にかけて高齢化率の上昇を見ると、他地区と比較して、尾張地域の上昇が大きく(6.7%)、とりわけ北東尾張地域(7.0%)と西尾張地域(7.0%)の上昇が顕著で、特に西尾張地域の高齢化率は東三河地域と同率となっている。

【表2】県内の各地域における高齢者の割合(推移)



資料:平22~26年は「あいちの人口」。平37,47年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

【表2-1】県内の各地域における高齢化率の上昇

(単位	%)
\ + 134	/0/

	名古屋	尾張	西三河	東三河
17 年⇒26 年	5.0 (6.7) 5.5	5.8

	北東尾張	西尾張	知多
平成 17 年→平成 26 年	7.0	7.0	5.8
平成26年10月の高齢化率	23.4	25.0	23.0

(「北東尾張」、「西尾張」、「知多」の区分については、国勢調査に準じ、以下のとおりとなっている。)

地域	市町村
北東尾張エリア	瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、日
(地域)	進市、清須市、北名古屋市、長久手市、東郷町、豊山町、大口町、扶桑町
西尾張エリア	一宮市、津島市、稲沢市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村
(地域)	
知多エリア	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美
(地域)	浜町、武豊町
西三河エリア	岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市、みよし
(地域)	市、幸田町
東三河エリア	豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、設楽町、東栄町、豊根村
(地域)	

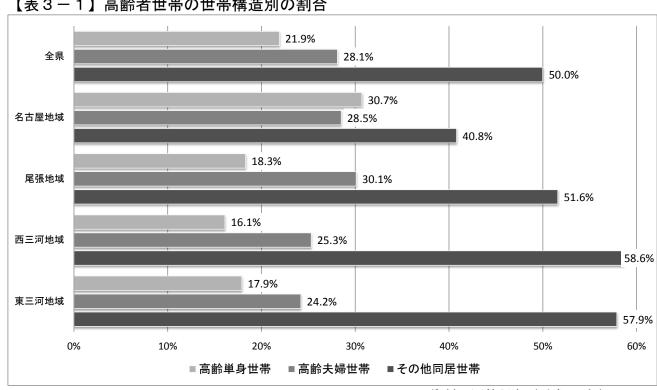
(イ) 65 歳以上の高齢者のいる世帯(以下「高齢者世帯」という。) の世帯構造別に みた世帯の状況【表3、3-1】

- ○高齢者世帯の割合は表3のとおりで、東三河地域で全世帯の4割近くとなり、その 割合が最も高くなっている(39.5%)。
- ○高齢単身世帯について、全県の平均(21.9%)に対して、名古屋地域では3割を超 え、高齢単身世帯の割合が他の地域と比較して著しく高くなっている。また、高齢 単身世帯及び高齢夫婦世帯の割合の合計は6割近く(59.2%)に上り、その他の同 居世帯の割合を大きく上回っている。
- ○一方で、尾張、西三河、東三河の各地域では、いずれもその他の同居世帯の割合が 5割を超え、特に西三河、東三河の両地域では6割近くとなり、名古屋地域と高齢 者世帯にかかる状況が逆転している。

【表3】県内の各地域における高齢者世帯の割合

全県	名古屋	尾張	西三河	東三河
33.9	31.6	36.3	30.7	39.5

【表3-1】高齢者世帯の世帯構造別の割合



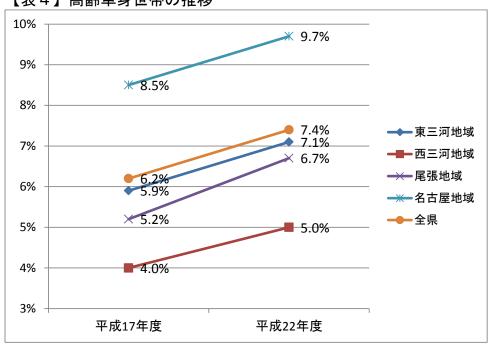
資料: 国勢調査(平成22年)

(単位:%)

(ウ) 全世帯に占める高齢単身世帯の割合の推移【表4、4-1】

- 〇平成 22 年度における高齢単身世帯の割合は全県で 7.4%となっており、平成 17 年度からの 5 年間で 1.2%増加している。
- ○名古屋地域の高齢単身世帯の割合は 9.7%と、他の地域と比較して、著しく高くなっている。
- ○西三河地域は平成 17 年、22 年ともに全県と比較すると、その割合が 2~3%程度 低くなっている。
- 〇平成17年から22年度にかけての高齢単身世帯率の上昇を見ると、尾張地域が1.5% 伸びている。なかでも、西尾張地域が1.6%、北東尾張地域が1.5%伸びており、他の地域($1.0\sim1.2\%$)を上回り、高齢単身世帯の割合が増加している。

【表4】高齢単身世帯の推移



資料: 国勢調査(平成22年)

【表4-1】高齢単身世帯率の上昇

名古屋

1.2

尾張

1.5

全県

1.2

17→22 年

西三河	東三河
1.0	1.2

(単位:%)

	北東尾張	西尾張	知多
平成 17 年→平成 22 年	1.5	1.6	1.2

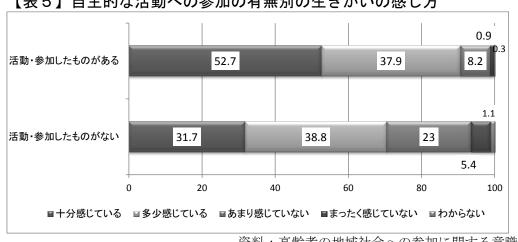
2 愛知県内における地域活動の状況

(1) 高齢者の生きがいについて

- ○自主的な活動に「活動・参加したものがある」者は「活動・参加したものがない」 者に比較して、生きがいを感じている者の割合が非常に多くなっている。【表5】
- **O**また、健康状態が良い者ほど、生きがいを感じている者の割合が多くなっている。

【表5-1】

【表5】自主的な活動への参加の有無別の生きがいの感じ方



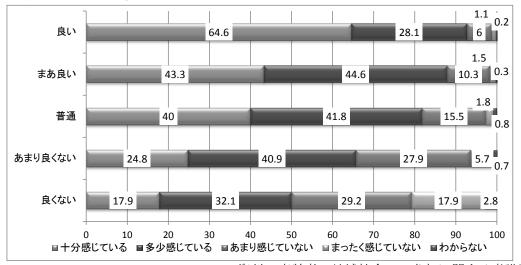
十分感じている 多少感じている

90.6

70.5

資料: 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査(内閣府)

【表5-1】健康状態別の生きがいの感じ方



十分感じている 多少感じている

92.7

87.9

81.8

65.7

50.0

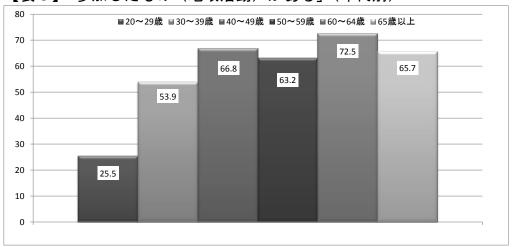
資料: 高齢者の地域社会への参加に関する意識調査(内閣府)

(2) 本県における年代別の地域活動の状況

(ア) 地域活動の参加経験【表6】

- 〇最も割合が高いのは「 $60\sim64$ 歳」(72.5%) で、この年代はおよそ 4 人に 3 人が何らかの活動に参加している。
- 〇年代の上昇とともに参加経験の割合は上昇しているが、「 $50\sim59$ 歳」でいったん減少し、その後「 $60\sim64$ 歳」で急激に上昇後、「65 歳以上」で再び減少に転じている。

【表6】「参加したもの(地域活動)がある」(年代別)



資料:平成25年度第2回県政世論調査より生涯学習課にて作成

(イ)参加した地域活動

参加した地域活動の活動内容及び参加割合に関する年代別の状況・・・【表7】 地域活動への参加意向と参加経験に関する年代別の状況・・・・・【表7-1】 参加意向と参加経験とのギャップ・・・・・・・・・・【表7-2】

参加意向と参加経験とのギャップについては、次の方法により計算している。 算式:(参加意向)-(参加経験)

(参加意向) < (参加経験) の場合 ⇒ ▲で表示

【表7】ここ1年の間の地域活動の参加経験

	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 64歳	65歳以上
道路・公園の清掃活動や 草取りなどの共同作業	6.1	23.8	34.8	34.4	37.4	36.5
自治会・町内会・ 老人クラブなどの活動	2	18.5	26.2	25.8	30.2	36.5
運動会・盆踊り・お祭りなど レクリエーション活動	9.2	30.6	33.2	19.9	21.4	20.2
廃品回収や不用品の交換会 などのリサイクル活動	3.1	18.9	25.5	19.3	20.6	21.3
PTA活動	0.5	10.6	18.5	3.3	1.1	1.1
子ども会や少年スポーツ チームの指導や世話	2.6	11.3	12.3	3.6	1.5	2.2
野球やバレーボールなど、 スポーツのサークル活動	5.6	8.7	6.8	8	7.3	7.3
音楽・写真・学習会など、 文化サークル活動	3.1	1.5	4	4.7	9.9	11.8
防火や防災訓練活動	1.5	7.5	11.7	10.7	16.8	14
 防犯や交通安全活動 	1.5	5.7	8.6	5.6	9.5	9
高齢者や障害のある方への 手助けなどの活動	2.6	2.3	2.8	2.7	8.8	6.7
その他	0.5	0.8		3	3.8	6.2

資料:平成25年度第2回県政世論調査

【表7-1】地域活動への参加意向と参加経験 (上段:参加意向/下段:参加経験)

	20~ 29歳		30~ 39歳		40~ 49歳		50~ 59歳		60~ 64歳		65歳	以上
道路・公園の清掃活動や 草取りなどの共同作業	7.7	6.1	12.8		19.4		17.8		24	37.4	25.8	36.5
自治会・町内会・ 老人クラブなどの活動	2.6	2	9.1		9.2		12.5	25.8		30.2	22.5	36.5
運動会・盆踊り・お祭りなど レクリエーション活動	19.9	9.2	28.3	30.6	20	33.2	13.1	19.9	14.9	21.4	16.9	20.2
廃品回収や不用品の交換会 などのリサイクル活動	6.1	3.1	9.4	18.9	12.6	25.5	11.9	19.3	13.7	20.6	15.7	21.3
PTA活動	0.5	0.5	4.5		5.8		1.5	3.3	0.4	1.1		1.1
子ども会や少年スポーツ チームの指導や世話	10.2	2.6	10.6		6.8	12.3	4.7	3.6	3.1	1.5	2.8	2.2
野球やバレーボールなど、 スポーツのサークル活動	19.9	5.6	20.8	8.7	14.2	6.8	12.8	8	10.7	7.3	8.4	7.3
音楽・写真・学習会など、 文化サークル活動	11.2	3.1	16.6	1.5	19.4	4	19	4.7	20.2	9.9	20.2	11.8
防火や防災訓練活動	8.2	1.5	14	7.5	13.8	11.7	13.9	10.7	18.3	16.8	15.2	14
防犯や交通安全活動	3.6	1.5	7.2	5.7	7.1	8.6	7.4	5.6	11.1	9.5	8.4	9
高齢者や障害のある方への 手助けなどの活動	7.1	2.6	6	2.3	8.6	2.8	10.1	2.7	16.4	8.8	12.9	6.7
その他	1	0.5	0.4	0.8	0.6	••••••	2.1	3	1.1	3.8	1.7	6.2

【表7-2】参加意向と参加経験とのギャップ

	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 64歳	65歳以上
道路・公園の清掃活動や 草取りなどの共同作業	1.6	▲ 11.0	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 13.4	▲ 10.7
自治会・町内会・ 老人クラブなどの活動	0.6	▲ 9.4	▲ 17.0	▲ 13.3	▲ 10.0	▲ 14.0
運動会・盆踊り・お祭りなど レクリエーション活動	10.7	▲ 2.3	▲ 13.2	▲ 6.8	▲ 6.5	▲ 3.3
廃品回収や不用品の交換会 などのリサイクル活動	3.0	▲ 9.5	▲ 12.9	▲ 7.4	▲ 6.9	▲ 5.6
PTA活動	0.0	▲ 6.1	▲ 12.7	▲ 1.8	▲ 0.7	▲ 1.1
子ども会や少年スポーツ チームの指導や世話	7.6	▲ 0.7	▲ 5.5	1.1	1.6	0.6
野球やバレーボールなど、 スポーツのサークル活動	14.3	12.1	7.4	4.8	3.4	1.1
音楽・写真・学習会など、 文化サークル活動	8.1	15.1	15.4	14.3	10.3	8.4
防火や防災訓練活動	6.7	6.5	2.1	3.2	1.5	1.2
防犯や交通安全活動	2.1	1.5	▲ 1.5	1.8	1.6	▲ 0.6
高齢者や障害のある方への 手助けなどの活動	4.5	3.7	5.8	7.4	7.6	6.2
その他	0.5	▲ 0.4	0.6	▲ 0.9	▲ 2.7	▲ 4.5

資料:平成25年度第2回県政世論調査より生涯学習課にて作成



- ○「道路・公園の清掃活動や草取りなどの共同作業」から「子ども会や少年スポーツ チームの指導や世話」について、「40~49歳」を中心としてほとんどの年代におい て、参加意向と参加経験との間にマイナスのギャップが生じている。これは、参加 意向に関わらず、子どもの状況や地域的な慣行など、自らの意思とは別の動機によ る参加が多くなっているものによると考えられる。
 - ⇒ 『地域における公共的・義務的な社会参加活動』
- ○「野球やバレーボールなど、スポーツのサークル活動」、「音楽・写真・学習会など、 文化サークル活動」について、すべての年代でプラスのギャップが生じている。これは、高い参加意向を有しているにも関わらず、必ずしも意向に沿った参加ができていないことによると考えられる。特に文化サークル活動について、そのギャップが大きくなっている。
 ⇒ 『個人の趣味的・教養的な学習活動』
- ○「防火や防災訓練活動」から「高齢者や障害のある方への手助けなどの活動」について、比較的ギャップの数値が低く、ほぼ参加意向に沿った参加ができているものと考えられる。しかしながら、「高齢者や障害のある方への手助けなどの活動」について、高齢者自身のギャップが大きくなっている。
 - ⇒ 『地域的・現代的な課題に対する自主的な社会参加活動』

(3) 本県における男女別の地域活動の状況

(ア) 地域活動の参加経験

○「参加したもの(地域活動)がある」と答えた人の割合は、男性で 55.1%、女性で 62.6%(平成 25 年度第 2 回県政世論調査)となっており、女性の方がその割合が 高くなっている。

(イ)参加した地域活動

男女別の地域活動への参加意向と参加経験は次のとおりとなっている。

【表8】地域活動への参加意向と参加経験

		男 性		女 性				
	参加意向	参加経験	ギャップ	参加意向	参加経験	ギャップ		
道路・公園の清掃活動や 草取りなどの共同作業	17.9	29	▲ 11.1	17.9	30.3	▲ 12.4		
自治会・町内会・ 老人クラブなどの活動	13.3	24.1	▲ 10.8	11.7	23.1	▲ 11.4		
運動会・盆踊り・お祭りなど レクリエーション活動	18.3	22.6	▲ 4.3	18.9	24	▲ 5.1		
廃品回収や不用品の交換会 などのリサイクル活動	9.5	14.8	▲ 5.3	13.1	21.9	▲ 8.8		
PTA活動	1.4	4.3	▲ 2.9	3.2	8.4	▲ 5.2		
子ども会や少年スポーツ チームの指導や世話	8.4	6.3	2.1	4.8	5.9	▲ 1.1		
野球やバレーボールなど、 スポーツのサークル活動	16.6	6.9	9.7	12.9	7.7	5.2		
音楽・写真・学習会など、 文化サークル活動	13.9	2.9	11.0	21.2	7.8	13.4		
防火や防災訓練活動	14.8	12.2	2.6	13.5	9.4	4.1		
防犯や交通安全活動	10.7	8.7	2.0	5.4	5.4	0.0		
高齢者や障害のある方への 手助けなどの活動	7	2.6	4.4	12.5	5.1	7.4		
その他	1.2	2.4	▲ 1.2	1.1	2.1	▲ 1.0		



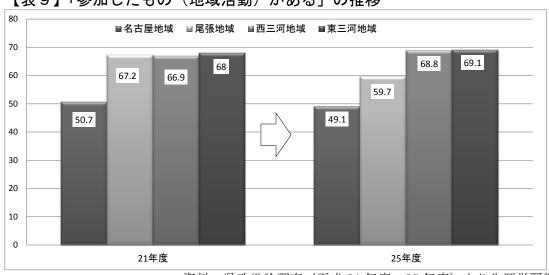
- 〇『地域における公共的・義務的な社会参加活動』について、男女ともマイナスギャップが高いが、特に女性でその数値が高くなっており、これらの活動については、 女性において、参加意向に関わらない参加が多くなっていると考えられる。
- 〇『個人の趣味的・教養的な学習活動』について、プラスのギャップが高くなっており、男女ともに参加の意向はあるが、必ずしもその意向に沿った参加ができていない状況となっている。

〇『地域的・現代的な課題に対する自主的な社会参加活動』について、男女ともほぼ参加意向に沿った参加ができている状況であるが、防災や防犯への活動では女性よりも男性の方が参加意向、参加経験ともにその割合が高く、また「高齢者や障害のある方への手助けなどの活動」では、特に女性において、活動への参加意向に関わらず、十分な参加ができていない状況となっている。

(4) 本県における地域別の地域活動の状況

(ア) 地域活動の参加経験【表9】

- ○平成 21 年度と 25 年度とを比較して、「参加したもの(地域活動)がある」と答えた人の割合は、名古屋、尾張地域では減少している(名古屋▲1.6%、尾張▲7.5%)が、三河地域では増加している(西三河 1.9%、東三河 1.1%)。
- 〇名古屋、西三河、東三河地域の増減は 1%程度であり、さほど大きな増減はないが、 尾張地域では減少が非常に大きくなっている($\blacktriangle7.5\%$)。



【表9】「参加したもの(地域活動)がある」の推移

資料:県政世論調査(平成21年度、25年度)より生涯学習課にて作成

(イ)参加した地域活動

参加した地域活動の活動内容及び参加割合に関する地域別の状況・・・【表 1 0 】 地域活動への参加意向と参加経験に関する地域別の状況・・・・・【表 1 0 - 1 】 参加意向と参加経験とのギャップ・・・・・・・・・・【表 1 0 - 2 】

参加意向と参加経験とのギャップについては、次の方法により計算している。 算式:(参加意向)-(参加経験)

(参加意向) < (参加経験) の場合 ⇒ ▲で表示

【表10】ここ1年の間の地域活動の参加経験

	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域
道路・公園の清掃活動や 草取りなどの共同作業	20.5	30.7	38.2	35.5
自治会・町内会・ 老人クラブなどの活動	19.9	23.1	26.5	29.7
運動会・盆踊り・お祭りなど レクリエーション活動	16.1	24.5	29.7	27.7
廃品回収や不用品の交換会 などのリサイクル活動	12.7	19.3	24.9	23.2
PTA活動	5.6	5.9	9.5	7.7
子ども会や少年スポーツチームの指導や世話	4.5	5.7	7.9	8.4
野球やバレーボールなど、スポーツのサークル活動	4.5	7	10.1	11
音楽・写真・学習会など、文 化サークル活動	4.7	5.3	7.6	6.5
防火や防災訓練活動	8.3	8.4	18.9	9
防犯や交通安全活動	5.6	5.4	10.1	9
高齢者や障害のある方への 手助けなどの活動	3.3	3.4	4.4	8.4
その他	2	2.2	1.9	3.9

資料: 平成 25 年度第 2 回県政世論調査

【表10-1】地域活動への参加意向と参加経験 (上段:参加意向/下段:参加経験)

	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域	
道路・公園の清掃活動や 草取りなどの共同作業	14.3	18.7	20.2	19.4	
自治会・町内会・ 老人クラブなどの活動	9.8	11	15.8	18.1	
運動会・盆踊り・お祭りなど レクリエーション活動	13.4	19.2	23	23.2	
廃品回収や不用品の交換会 などのリサイクル活動	9.8	11	13.6	15.5	
PTA活動	1.1	2.2	4.7	2.6	
子ども会や少年スポーツチー ムの指導や世話		5.4	7.9	7.1	
野球やバレーボールなど、スポーツのサークル活動	12.7	13.3	18.3	16.8	
音楽・写真・学習会など、文化サークル活動	15.8	18	18.9	23.9	
防火や防災訓練活動	11.2	12.7	18.3	19.4	
防犯や交通安全活動	7.8	5.9	10.1	9	
高齢者や障害のある方への 手助けなどの活動	9.2	8.5	14.8	11	
その他	2.2	0.8	0.9		
		1	!		

【表10-2】参加意向と参加経験とのギャップ

	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域
道路・公園の清掃活動や 草取りなどの共同作業	▲ 6.2	▲ 12.0	▲ 18.0	▲ 16.1
自治会・町内会・ 老人クラブなどの活動	▲ 10.1	▲ 12.1	▲ 10.7	▲ 11.6
運動会・盆踊り・お祭りなど レクリエーション活動	▲ 2.7	▲ 5.3	▲ 6.7	▲ 4.5
廃品回収や不用品の交換会 などのリサイクル活動	▲ 2.9	▲ 8.3	▲ 11.3	▲ 7.7
PTA活動	▲ 4.5	▲ 3.7	▲ 4.8	▲ 5.1
子ども会や少年スポーツチームの指導や世話	1.8	▲ 0.3	0.0	▲ 1.3
野球やバレーボールなど、スポーツのサークル活動	8.2	6.3	8.2	5.8
音楽・写真・学習会など、文 化サークル活動	11.1	12.7	11.3	17.4
防火や防災訓練活動	2.9	4.3	▲ 0.6	10.4
防犯や交通安全活動	2.2	0.5	0.0	0.0
高齢者や障害のある方への 手助けなどの活動	5.9	5.1	10.4	2.6
その他	0.2	▲ 1.4	▲ 1.0	▲ 3.9

資料:平成25年度第2回県政世論調査より生涯学習課にて作成



- 〇いずれの活動も西三河地域で参加経験者の割合が多く、次いで東三河地域となっている。総じて三河地域において参加経験者の割合が高く、名古屋・尾張地域でその割合が低いという、"東高西低"になっている。
- 〇『地域における公共的・義務的な社会参加活動』について、名古屋地域では、いずれの活動も参加経験の割合が最も低くなっている。特に「道路・公園の清掃活動や草取りなどの共同作業」、「運動会・盆踊り・お祭りなどレクリエーション活動」において、それが顕著となっている。また、参加意向についても、ほとんどの活動について、その割合が最も低くなっており、個別の活動についても【表9】の結果を裏付けるものとなっている。
- 〇『個人の趣味的・教養的な学習活動』について、東三河地域で意向と経験とのギャップが大きく、文化サークル等学びの場が十分ではないと考えられる。
- 〇『地域的・現代的な課題に対する自主的な社会参加活動』のうち「高齢者や障害のある方への手助けなどの活動」について、西三河地域で参加意向が非常に高くなっているが、参加経験はさほど高くなく、意向と経験とのギャップが大きくなっている。また、「防火や防災訓練活動」では西三河地域のみマイナスのギャップとなっている一方で、東三河地域では非常に大きなプラスのギャップが生じている。

(5) 地域活動に参加していない理由

【表11】地域活動に参加していない理由(年代別)

	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
仕事・家事・育児などで 忙しい	51.5	66.2	59.3	50	33.9	22.7
人間関係がわずらわしい	17.6	26.5	30.2	33	37.5	20.5
面倒くさい	33.8	30.9	29.1	28.4	17.9	6.8
活動時間が自分の生活 時間と合わない	33.8	19.1	37.2	21.6	26.8	6.8
関心がない	30.9	20.6	24.4	29.5	25	15.9
どこで、どのような活動が 行われているかわからない	17.6	16.2	20.9	13.6	8.9	11.4
健康や体力に自信がない	5.9	4.4	11.6	13.6	30.4	38.6
参加するキッカケが つかめない	17.6	10.3	10.5	19.3	10.7	18.2
仲間がいない	19.1	8.8	18.6	12.5	8.9	6.8
参加したい活動が開催 されていない	13.2	10.3	3.5	12.5	10.7	13.6
施設がない		1.5	1.2	3.4		2.3
指導者がいない			1.2	1.1		4.5
その他	1.5		5.8	8	7.1	6.8

【表11-1】地域活動に参加していない理由(男女別)

	7V/ LL 2931	<i>-</i> •		())- (,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	男性	女性	男性 -女性		男性	女性	男性 -女性
仕事・家事・育児などで 忙しい	45.6	53.7	▲ 8.1	参加するキッカケが つかめない	19.4	10.4	9.0
人間関係がわずらわしい	27.2	28.6	▲ 1.4	仲間がいない	16.7	10.4	6.3
面倒くさい	27.8	24.7	3.1	参加したい活動が開催 されていない	11.1	9.5	1.6
活動時間が自分の生活 時間と合わない	22.2	28.6	▲ 6.4	施設がない	1.1	1.7	▲ 0.6
関心がない	23.9	26	▲ 2.1	指導者がいない	1.1	0.4	0.7
どこで、どのような活動が 行われているかわからない	18.9	13	5.9	その他	3.9	5.6	▲ 1.7
健康や体力に自信がな い	16.7	14.7	2.0				

【表11-2】地域活動に参加していない理由(地域別)

	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域
仕事・家事・育児などで 忙しい	53.6	48	47.2	50
人間関係がわずらわしい	30.4	24.3	33.3	28.6
面倒くさい	29.7	20.8	29.2	32.1
活動時間が自分の生活 時間と合わない	29.7	23.7	25	21.4
関心がない	25.4	24.3	27.8	25
どこで、どのような活動が 行われているかわからない	19.6	9.8	22.2	14.3
健康や体力に自信がない	9.4	22	13.9	7.1
参加するキッカケが つかめない	14.5	14.5	13.9	17.9
仲間がいない	13	13.9	13.9	10.7
参加したい活動が開催 されていない	10.9	7.5	13.9	14.3
施設がない	2.9	0.6		3.6
指導者がいない	1.4	1.2		3.6
その他	3.6	5.8	4.2	10.7



- 〇年代別にみると、20歳代から50歳代までは、「仕事・家事・育児などで忙しい」が 突出しているが、60歳以上になると、「人間関係がわずらわしい」、「健康や体力に 自信がない」と答えた人の割合が急増している。また、参加するキッカケがつかめ ない」と答えた人の割合について、最も高いのは「50~59歳」(19.3%)、次いで「65歳以上」(18.2%)となっており、「参加したい活動が開催されていない」について、 「65歳以上」でその割合が最も高く(13.6%)なっている。
- 〇男女別にみると、男性は「どこで、どのような活動が行われているかわからない」、「参加するキッカケがつかめない」、「仲間がいない」と答えた人の割合が女性を大きく上回り、女性は「仕事・家事・育児などで忙しい」、「活動時間が自分の生活時間と合わない」と答えた人の割合が男性を大きく上回っている。
- ○地域別にみると、いずれの地域も特徴はみられない。

3 状況・課題の整理

(1) 本県における高齢化の状況

- ○本県の高齢化率は23.0% (平成26年10月1日現在の推計値)であるが、平成37年には26.4%、47年には29.5%になると推測されている。また、平成47年までには後期高齢者が前期高齢者を上回ることになっている。
- ○各地域において高齢化の状況は異なり、平成 26 年 10 月の時点で、西三河地域が高齢化率 20.2%であるのに対し、東三河地域では 25.0%であり、4 人に 1 人が高齢者となっている。
- ○尾張地域で高齢化率の上昇が大きく、とりわけ北東尾張と西尾張地域でその上昇が 顕著となっている。
- ○高齢者世帯に占める高齢単身世帯の割合について、全県では 21.9%であるが、名古 屋地域では 3 割を超え、他の地域に比べて著しく高くなっている。また、高齢単身 世帯・高齢夫婦世帯の割合も多く、他の地域とは状況が逆転している。
- ○全世帯に占める高齢単身世帯の割合について、名古屋地域でその割合が高くなっているが、尾張地域でその上昇が大きくなっている。高齢化率と同様、北東尾張と西 尾張地域で顕著となっている。

(2) 生涯学習に関する県民の意識(課題)

【年代別】

- ○地域活動への参加について、「参加したものがある」者の割合は年齢とともに上昇しているが、「50~59歳」において、いったん減少に転じており、定年を控えたこの年代に対して、地域活動への参加を促す工夫が必要である。
- ○『地域における公共的・義務的な社会参加活動』について、必ずしも参加意向に沿 うものではないが、「40~49歳」を中心に多くの者がこうした活動に参加している。 高齢者も多く参加しており、こうした活動への参加を義務的な一過性のものではな く、継続して次の活動へとつながっていくような工夫が必要である。
- ○『個人の趣味的・教養的な学習活動』について、すべての年代で高い参加意向があるにも関わらず、十分な参加ができていない。活動への参加を妨げている要因は何であるのか、その要因を分析する必要がある。

○『地域的・現代的な課題に対する自主的な社会参加活動』のうち、特に「高齢者や障害のある方への手助けなどの活動」について、十分な参加ができていない。今後、前期高齢者を後期高齢者が上回っていく状況が明らかであり、こうした活動への参加を妨げている要因は何であるのか、その要因を分析する必要がある。

【男女別】

- ○『地域における公共的・義務的な社会参加活動』について、特に女性における参加 意向と経験とのギャップが大きくなっている。女性に多くの負担がかかっていると も考えられ、こうした活動への男性の積極的な参加を促すための工夫が必要である。
- ○『個人の趣味的・教養的な学習活動』について、性別を問わず十分な参加ができていない。活動への参加を妨げている要因は何であるのかを分析して、地域活動への参加を促すための工夫に役立てる必要がある。
- ○『地域的・現代的な課題に対する自主的な社会参加活動』のうち、特に「高齢者や障害のある方への手助けなどの活動」について、特に女性における参加意向と経験とのギャップが大きくなっている。女性の方が男性よりも健康寿命が長く、こうした活動への参加を促進していく必要がある。

【地域別】

- ○『地域における公共的・義務的な社会参加活動』、『個人の趣味的・教養的な学習活動』、『地域的・現代的な課題に対する自主的な社会参加活動』のいずれも三河地域で参加経験者の割合が高く、名古屋、尾張地域においてその割合が低くなっている。この違いは何が要因であるのか、その要因を分析し、名古屋、尾張地域において、こうした活動への参加を促す工夫が必要である。
- ○また、三河地域においても西三河と東三河とでは、「防火や防災訓練活動」、「高齢者や障害のある方への手助けなどの活動」において、参加経験に大きな差が生じている。この理由を分析し、そこから、地域社会への参加を促す方法を検討することが必要である。